

呼吸器内科病棟に、肺がんにて過去に入院された患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に関する情報公開文書）

北海道がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録や保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和4年3月10日一部改正、令和5年3月27日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道がんセンター倫理審査委員会で承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

【研究課題名】

苦痛のスクリーニングにより看護介入を要した肺がん患者の実態調査

【研究機関名・長の氏名】

北海道がんセンター 院長 平賀 博明

【研究代表者名・所属】

北海道がんセンター 7階南病棟／呼吸器内科病棟 スタッフナース 中島和英

【共同研究機関名・長の氏名・研究責任者名】

なし

【研究の目的】

苦痛のスクリーニング「からだところに関する質問票」の記入結果を集計し、看護介入を要した肺がん患者の実態を調査します。

【研究の方法】

- 2024年1月～同年6月に呼吸器内科病棟に入院した肺がん患者さんのデータを使用します。
- 上記のうち、スクリーニング用紙「からだところに関する問診票」による初回評価時に看護介入が必要と判断された患者さんを割り出します。
- 初回評価時に陽性となった患者さんの該当項目や症状の程度を示す点数を集計し、看護介入が必要と判断された患者さんの基礎情報を記述します。
- 看護介入が必要と判断された患者さん患者は、1回のスクリーニングにおいて初回と再評価時と何項目該当し、それぞれ症状の程度を示す点数についても含め集計します。
- 初回評価時から1週間の再評価までと、1週間後以降も対応した患者さんに実施された看護介入を記述します。
- 上記1から5の集計や記述の勘案から、苦痛のスクリーニングにより看護介入を要した肺がん患者さんの実態を考察します。
- 副次的に看護介入後の患者の苦痛の緩和効果やケアニーズについて推察することにより看護の示唆を得られるか探索する

○利用する検体・カルテ情報

検体：使用しません。

カルテ情報：当院の呼吸器内科病棟に入院した患者さんの診療記録、看護記録から分析に必要な基礎情報（年齢、病期、治療内容、副作用症状の経過、家族状況、他）を情報収集します。本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

○具体的な研究内容

研究の方法の項を参照して下さい。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

2024年6月（倫理審査委員会による実施許可日）～2025年6月31日

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は、2024年12月31日までに以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道がんセンター 7階南病棟・呼吸器内科

担当看護師：中島 和英

住所：〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号

電話：011-811-9111

FAX：011-832-0652